

令和5年度第2回社会教育委員の会議 会議要旨

日 時：令和5年10月25日（水）14：00～

場 所：生涯学習総合センター研修室5・6

出席者：委員7名、事務局5名

1. 開会

2. 教育長あいさつ（教育部長代読）

3. 議事

「人口減少社会における社会教育の役割について」

前回までの議論を踏まえ、今後の社会教育の振興方策案に対し、各委員よりご意見をいただいた。

【委員からの主な意見】

(1) 時代の変化に対応した社会教育の推進

① デジタル化への対応とデジタルデバイドの解消に関する取組の推進

- ・ 高血圧者向けオンライン診断や防災に関することは、高齢者にとってはかなり重要な案件だと思う。そういうことをうまく高齢者の方々に公民館で教える講座みたいなものが必要である。
- ・ 高齢者であれば、孫とオンラインで話すのを目的にするとか、俳句を考えてSNSにあげて、それに合う写真を撮るために歩いてみようかとか、その時に歩数わかるようなアプリを見て、今日は何歩歩いたとか、そういう形で参加していただけるようなものも面白いと思う。
- ・ こちらからの出張という形で出前講座に行くとか、主催者のほうから出向くという姿勢も少し盛り込んだ方が、利用者の方も来てもらおうかとなるかもしれない。
- ・ 機器はこちらで用意するので、手ぶらで来て使い方教えますという方法だと良いと思う。高齢者はスマホを持っていないので、講座を開催しても行かない。携帯電話会社と連携すれば、開催主催者側としても費用がかからないし、受講者もお金がかからない。
- ・ 会津コインなど、二次元コード決済を使用することが結構多いので、二次元コードの利用を追加しても良いのではないか。

② 社会的包摂の実現

- ・ 国でも子どもの居場所づくりとか、子どもの居場所支援が非常に進んでいる。高齢者や子どもの居場所を作るようなことを追加できないか。

- ・フリースクールや子ども食堂等との連携強化などについて、社会教育で出来そうなことがあれば入れても良いと思う。
- ・貧困な状況にある子どもに何をしていくのかが、具体的に記載がないので記載していただきたい。
- ・国の施策でも県の施策でも、今、スクールソーシャルワーカーが非常に重視されてきているので、加えても良いのではないか。

(2)社会教育の人材の育成と活用

①社会教育への新たな人材等の参画の促進

- ・社会教育の人材の公募の方法を明記した方が良い。例えば学校と連携して「学校だより」で載せるとかホームページに載せるとか、公募のやり方を具体化するとやりやすいと思う。
- ・紙ベースで公募してもなかなか難しいと思う。以前、社会教育に携わってた時は、人との繋がりで見つけたり発掘した。
- ・市政だよりを市民の方みんなが見てるかという怪しい部分もあるが、紙でないと見れないという方も確かにいらっしゃるの、紙とデジタルと並行して募集すれば良い。
- ・地域学校協働本部事業のコーディネーターをできるような人を発掘とか、引っ張り込むというような文言が入ると良い。
- ・今、地域学校協働本部事業のコーディネーターは自分の繋がりで見つけているが、今の方がやめると繋がりなくなってしまう。コーディネーターの力量とかやり方によって大きな差が出てしまう部分だと思うので、養成講座の中では、団体と繋ぐのが大きな仕事だと位置づけることが重要である。
- ・集落支援員の制度や地域おこし協力隊の制度を使い、そういう人々を補助金を使って採用するなど、人材をうまく配置できれば良いと思う。

②高齢者の社会参加の促進

- ・今の高齢者は年金だけで暮らしてる人が多いが、年金だけで豊かな暮らしをするのは極めて難しい。高齢者を登用するのは大いに結構だが、謝礼として多少でもいただければ、ますますやる気が出ると思う。
- ・高齢者に社会教育活動の参加を働きかける際には、きめ細かい資料を作成し提示して、参加を働きかけるということが必要である。

③リカレント教育の推進

- ・大学の派遣講座を取り組むにあたって、デジタルデバインドに焦点を当てたり、文化とか社会科学とか何にフォーカスしても良いと思う。
- ・個々のライフプランやニーズでは漠然としているので、マネープランや資産運用や健康管理など、もう少し具体的に記載すべきである。

(3)地域コミュニティの維持・活性化

①地域学校協働活動の体制強化

- ・学校の中に地域住民が気軽に来ていただくのは良いが、出入りの管理の部分の問題があると思う。
- ・「高齢者やボランティアが集える空間を確保する」という文言を記載するのは難しいと思うが、かなり前進的なものとして評価されるものになると思うので、ぜひ記載していただきたい。
- ・「空間」ではなくて「居場所作り」に変えるのはどうか。
- ・「ボランティアが集える居場所作りに努める」だと良い。
- ・高齢者などが集える空間について、高齢者が学校に行くためには何か目的があれば行くと思う。

②幅広い世代の交流の促進

- ・子ども会としては、現在、子どもが少なくなってきているので活動が難しくなってきた。また、子どもを見守る大人と役員になる方も今本当にいない。特に、一番大切な子どものリーダー作りというのができていないのが、今、子ども会として大変大きな問題になっている。
- ・祭りは地域と地域の人を繋ぎ合わせる接着剤だという講演を聞いたことがある。小さな地域で祭りなど何かコミュニティの場を作っていけば、必然的にその親子の交流、子どもとの交流が少しずつ出来上がっていくと思う。
- ・「子ども会をベース」という表現で良いか。「子ども会等の社会教育活動などを活性化する」としたほうが良いのではないか。

(4)社会教育施設の機能強化

- ・コミュニティセンターを社会教育に活用するのは非常に良いが、スケジュールがいっぱいで、その余裕があるか疑問に思う。市で具体的に今の状況から変えていくような考えがあるのか。

4. その他

なし

5. 閉会